



2021年6月7日

各位

会社名 ダイキョーニシカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内田 成明
 (コード番号: 4246 東証第一部)
 問合せ先 経営企画本部長 河崎 広
 (TEL 082-493-5610)

2022年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2021年5月13日に公表しました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2022年3月期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2022年3月期 第2四半期累計期間 連結業績予想 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想 (B)	61,000	400	600	△200	△2.82
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期 第2四半期)	62,999	57	231	△159	△2.25

(2) 2022年3月期 通期 連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想 (B)	131,000	1,700	2,900	300	4.23
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	150,234	4,456	5,386	2,536	35.75

(3) 連結業績予想公表に至る背景と今後の見通し

2022年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響及び半導体の供給不足により主要な顧客の生産台数が見通せないため、業績に影響を与える不確定要素が多数存在することから業績予想を適正かつ合理的に算定することが困難と判断し、未定としておりました。

この度、主要な顧客の生産変動に関して現状入手しうる情報や予測等に基づき連結業績予想を算定し、公表することといたしました。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は131,000百万円（対前年比12.8%減）を見込んでおります。なお、収益認識に関する会計基準が適用されるため、売上高の対前年比には会計基準による差異が含まれます。営業利益は米国新工場の操業準備費用が負担となり、1,700百万円（対前年比61.9%減）、経常利益は2,900百万円（対前年比46.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は300百万円（対前年比88.2%減）を見込んでおります。厳しい状況ではありますが、中期経営計画に掲げた戦略を実行しながら、全社を挙げてのコスト改善を一層推進し、業績の向上に努めてまいります。

2. 配当予想

(1) 2022年3月期 配当予想

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	未定	未定	未定
今回発表予想	15.00	15.00	30.00
当期実績			
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	13.00	17.00	30.00

(2) 配当予想の理由

当社の配当政策は、株主の皆さまに対して安定的・継続的な配当を行なうことを基本とし、業績、配当性向などを総合的に勘案して実施することとしております。2022年3月期の配当予想につきましては、1株当たり年間配当予想を30円（中間15円、期末15円）といたします。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

以上